

【様式4】

エシカル甲子園 2020 大会広報用プロフィールシート

学 校 名	広島市立広島商業高等学校
発表タイトル	模擬株式会社 広島市商ピースデパート ～コロナ禍だからこそ取り組むべき 新しいビジネスのカタチ～

○模擬株式会社「広島市商ピースデパート」の取組

1 コンセプト

ビジネス活動による社会貢献、ヒロシマの商業高校として恒久平和の継承
「平和でなければビジネスは成り立たない」

2 規模、組織

総合的な探究の時間「キャリア教育実践」（全学年1単位）で学習している。

21店舗、協力企業40社以上、連携校（小学校4、中学校1、高校2、特別支援1）

3 取組内容

(1) 方向性の検討

- ・エシカル消費の促進は、エシカル消費対応のビジネスを展開する必要がある
- ・コロナ禍に対応した安心、安全にお買い物を楽しんでいただける仕組みを作る
- ・恒久平和、地域社会、企業のために、店舗とネットの両方でビジネス活動を行う
- ・社員のために、学習した知識や技術を生かしたビジネス活動を行う

(2) 実現したビジネスのカタチ

① コロナ感染症拡大予防ガイドラインの徹底協議と広報

- ・企業や社会の動向、他校の状況、保護者の状況を調査、作成、準備、実施。
- ・事前来場者数調査（2回）
- ・マイスリッパ、マイバッグ、マイ靴袋の3点セット持参の呼びかけ

② 実店舗

- ・店舗の配置、会場レイアウトの工夫（サッカー台）
- ・販売方法の工夫
- ・経費節減の呼びかけ

③ ネット販売・カタログ販売（ICTの活用）

- ・ネットショップ「広島市商ドットコム」のノウハウを生かし、学校全体へ波及
- ・企業紹介応援ページの制作
- ・カタログ販売 ペーパーレスの取組

④ 平和企画展示、社会貢献

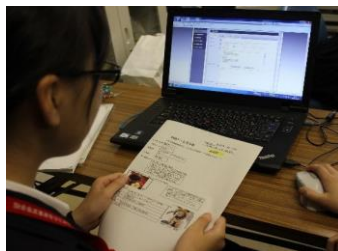
- ・被爆75周年を迎えた今、体験者・語り部の継承
- ・姉妹校 長崎商業高校との取組（風呂敷 和花、うみドレ）

○みらい商業科「8コース」の探究学習

8コースの専門性を活かし、デパートの各部署での活動に貢献



みらい商業科8コース



ネットショップ運営



観光ガイド実習